

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

2014・寒仕込み味噌づくり終了！

大豆の香り、こうじの手触り。

きっと、大きくなっても覚えてる。

たべものを大切にする心といっしょに。



地域に広がる味噌づくりの輪！

2/17 牛久幼稚園での味噌開き&味噌づくり。近隣の組合員もお手伝いに駆け付けて頂き、大賑わいの1日でした。

【2月・3月の予定】 ※2/20 現在の予定です。

●地域での活動・催し	●基幹運営・対外関係
3/3 (月) 10時～13時 脱原発と暮らし見直し委員会 (生協本部)	3/2日(日) 9時～11時 利根川河川敷クリーン作戦
3/9(日) 10時～14時 つくば リサイクルマーケット (つくば中央公園・水の広場)	3/8日(土) 11時～ 原発の無い福島を！ 県民大集会 (詳細 P4)
※右枠内をご覧ください。	3/15日(土) 9時～11時 原発事故！避難計画は立てられるか？(上岡直見さん講演会) (詳細 P4)
	3/22(土) 12:30～ おしどりマコ・ケン トークイベント(土浦市民会館)

催し情報は、常総生協のホームページもご覧ください。

3/9(日) 10時～14時

「つくばリサイクルマーケット」
にぜひお越しください！

場所:つくば中央公園(水の広場)

常総生協理事会「フリーマーケットチーム」からの呼びかけで、組合員、理事合同で出展することになりました。ぜひお越しください！「みどりのバンダナ」が目印です！



↑つくばリサイクルマーケット HP より

**[2014 寒仕込み・味噌づくり終了] 11 会場 90 名、幼稚園出前味噌作りは合計 9 回開催！
やっぱり、手作りっていいね！今度は「味噌開き」でお会いしましょう！**



1/22 守谷地区



1/28 土浦・阿見地区



1/29 つくばみらい地区



1/30 我孫子地区

今年は親子の参加が多かったです。3 世代での味噌づくりは圧巻でした。



2/4 取手地区



2/5 つくば地区



2/6 柏地区



2/12 龍ヶ崎・牛久地区

たべものを大切にする心よ育て！（地域幼稚園・出前味噌づくり教室）



1/23 荒川沖幼稚園



1/31 青葉台幼稚園

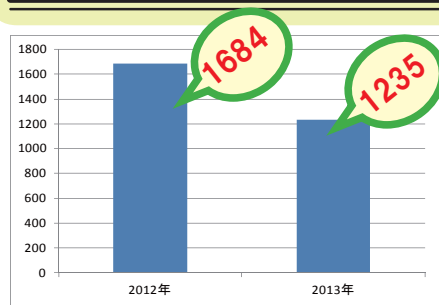


2/14 牛久幼稚園



今年も地域の組合員、理事の皆さんが子どもたちの味噌づくりを支えてくれました。感謝！

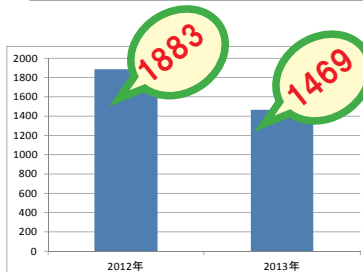
**[2014 寒仕込み味噌づくり終了] まだ受注中ですが、組合員利用の中間報告。
大豆 73%、米こうじ 78%。前年越えは厳しい！**



味噌用大豆苦戦！

理由としては、①組合員の数が昨年同期より少ないため注文も減、②毎年 10 kg、20 kg と大規模に仕込む方が減少したことも理由のひとつです。

今年の味噌づくりは終わりますが、簡単な「大豆料理」で年間通して食卓に上がる提案をしたいと思います。



米こうじ

大豆同様、味噌づくりをする組合員が減ったことによる減少幅が大きい。



麦こうじは

ほぼ昨年と同じペースで利用されています。「米麴派」から「麦麴派」への転向も。

手作り味噌づくりのシーズンは終了しますが、大豆、麴ともに味噌だけでなく、毎日の料理に役立てていただくべく、レシピ提案を充実させていきます。

例えば大豆は、乾豆の使い方（戻し方、保管

方法、調理方法など）提案します。

麴は 5 月末までの企画。その後は 11 月からの企画なので、季節に合わせた麴の活用方法を展開します。ぜひ組合員みなさんからの大豆活用術、麴活用術もお待ちしております！

【福島原発事故・住民被ばくから3年】

原発再稼働申請に対する住民包囲の声を！

二度と子どもたちを被ばくさせてはならない

原発事故・被ばくから3年。いまだ福島の人々の救済もできていない。広範な地域の人々の放射線被ばくによる健康影響への不安はまったく消えていない。汚染水も垂れ流し続けている。事故原因も解明されていない。

ところが再稼働申請が次々なされ、地元東海第2原発では日本原電が「3月末再稼働申請」などという情報を意図的にマスコミに流して住民の反応を伺うなどという姑息な手段で動き出してきました。

周辺住民の運動、自治体の動き、そして運転差止訴訟で、「申請さえできない状況を」つくらなければなりません。

○住民・自治体による申請断念への包囲を

3/15 (土) は東海村へ！

「100万人避難など不可能！講演会・住民決起集会」

30km 圏内に93万人。日本一周辺人口密度の高い東海第2原発。再び大地震や大津波に襲われたとき避難など不可能であること、住民は逃げられずに被ばくすることを明らかにする講演会・住民集会を東海村で開催します（次の4ページで参加呼びかけ）。

この集会を起点に「住民アンケート」や、各市町村への避難計画現実性についての協議に入ります。

4/27には東海原発前の海岸から風船を飛ばして、事故あるとき放射能はどのように飛散するかを検証します（バルーン・プロジェクト・・・先週ニュース）。

他方、周辺自治体9市町村長は、再稼働可否判断協議に加えるよう原子力安全協定の見直しを求め続けてきましたが、日本原電は「説明し意見を聞く」程度に押しとどめようと必死です。地域首长懇話会は「権限もないまま再稼働申請がされないよう」に覚書を交わすことを決定しました（2/4）。住民と自治体の連携した動きも大事になってきます。

○裁判での攻防戦

私たち常総生協組合員も参加して「原発の運転は住民の生存権・人格権を侵害するもの」として提訴した運転差止の集団訴訟も2/13、第5回の裁判を迎えました。

第5回では有機農家の魚住さんが森や農地や海の汚染は人々のいのちを支える食料生産の基盤を深刻に汚染し生存基盤を破壊するものとして原発廃炉を求めました。

前回の裁判で「規制基準ではマグニチュード9.6



裁判には変わらず多くの原告住民が参加し、法廷には入りきれない状態が続いている。



の地震を想定せよとしている。この想定では50m超の津波が原発を襲う。17mの防潮堤では耐えられないはず」との原告住民側の主張に対し、「申請するかどうかまだわからないので答えられない」と逃げた日本原電に対して、裁判長から「再稼働の申請をする予定があるのか」との質問（求釈明）が出された。

日本原電は仕方なく「申請の準備をすすめている」「基準津波に沿ったものとしたい」と答えざるをえず、原告側から「では何メートルの津波を想定しているのか」との追撃を受けて答えられない事態となっている。

すでに想定される津波にも耐えられない原発であることがはっきりして、裁判でその法的審理がされているにもかかわらず、再稼働申請がなされるなどということは言語道断。そのような場合は直ちに執行停止の「仮処分申請」を行う準備に入っています。

福島原発事故と住民被ばくから3年。政府は原発再稼働に舵を切り、被ばくは年20ミリシーベルトを受忍せよと強制帰還を画策し、低線量長期被ばくの影響を調査もせずになかったことにしようとしています。こうして電力会社は一斉に再稼働に動きはじめた。

3周年を前に、政府・原子力ムラと被害を受ける住民との攻防戦が再び山場を迎えます。

私たちは、もう二度と子どもたちを被ばくさせるようなことはさせないと誓いました。住民の声、自治体との連携、裁判とあらゆる方面から声をあげ、再稼働申請をさせないように包囲しましょう。

【3.11 を忘れない・市民大会】

原発の無い福島を！ 県民大集会 3月8日(土)

原発のない福島を！ 県民大集会

と き **2014年3月8日(土) 11時00分**

と ころ **ユラックス熱海(郡山メイン会場)**
いわき市文化センター(いわき会場)
福島県教育会館(福島会場)

呼びかけ人
福島県民「アトラクシオン」事務局(郡山)
福島県民「アトラクシオン」事務局(いわき)
福島県民「アトラクシオン」事務局(福島)
福島県民「アトラクシオン」事務局(会津)
福島県民「アトラクシオン」事務局(南相馬)
福島県民「アトラクシオン」事務局(双葉)
福島県民「アトラクシオン」事務局(浪江)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大川原)
福島県民「アトラクシオン」事務局(川俣)
福島県民「アトラクシオン」事務局(楢葉)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大熊)
福島県民「アトラクシオン」事務局(飯館)
福島県民「アトラクシオン」事務局(川俣町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(浪江町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大川原町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(川俣町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(楢葉町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大熊町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(飯館町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(川俣町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(浪江町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大川原町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(川俣町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(楢葉町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(大熊町)
福島県民「アトラクシオン」事務局(飯館町)

10:00 開場
11:00 アトラクション
13:00 県民大集会
15:00 デモ行進
(福島いわき会場のみ)

賛同人・賛同団体
募集中!

と き **3月8日(土) 11時～**
と ころ **ユラックス熱海(郡山メイン会場)**
住所：福島県郡山市熱海町熱海 2-148-2

10:00 開場
11:00 アトラクション
13:00 県民大集会



■ 昼食は、焼きそば、弁当(若干)、会場内レストランをご 利用できますが、
混雑が予想されますので各自持参をお勧めします。
■ 生協車両希望の方は、下記申込書にご記入ください。
※生協車両で行く場合、出発が少々早くなる予定です。後日連絡致します。

【3.11 を忘れない・講演会・報告会】

原発事故！ 避難計画は立てられるか？ 3月15日(土)

原発事故が起きた時、果たして被曝しないで避難できるのでしょうか？

全国17原発の30km圏内で要する避難時間
※環境経済研究所調べ

原発	国道のみ使用(時間)	国道と高速・主要地方道(時間)
① 泊(北海道)	15	10
② 東通(青森県)	35	22.5
③ 女川(宮城県)	44.5	21.5
④ 福島第1(福島県)	21	9
⑤ 福島第2(同)	28.5	11
⑥ 東海第2(茨城県)	132	52
⑦ 柏崎刈羽(新潟県)	66.5	29.5
⑧ 浜岡(静岡県)	142.5	63
⑨ 志賀(石川県)	36.5	14.5
⑩ 敦賀・もんじゅ(福井県)	34.5	18
⑪ 美浜(同)	26	13.5
⑫ 大飯(同)	15.5	8
⑬ 高浜(同)	24.5	13
⑭ 島根(島根県)	99.5	45.5
⑮ 伊方(愛媛県)	17.5	9.5
⑯ 玄海(佐賀県)	39.5	20
⑰ 川内(鹿児島県)	43	21.5

環境経済研究所らへ(2014.1.14 毎日新聞)

30キロ圏内で要する避難時間(東海第2)
・ 国道のみ使用・・・132時間
・ 国道と高速・主要地方道・・・52時間

あなたは東海第2原発で事故が起きた時のことを想像したことがありますか？
もし、福島第1原発と同じような事故が起きたら、被曝しないで避難できると思いますか？
民間団体が全原発の避難にかかる日数を試算した結果、**最長6日**かかるという報道がありました。
今回、その試算を行った専門家の上岡さんからお話を聞きます。

と き **3月15日(土) 10時～13時(会場9時半)**
と ころ **中丸コミセン**(多目的ホール) 住所：東海村須和間 345
かみおかなおみ
【講演】**上岡直見さん**(環境経済研究所代表)

【報告】1) 避難をめぐって 東海第2原発差し止め訴訟原告団
2) 村内の原子力施設と事故の複合災害 リウムムの会
■お申し込み、車両等のご希望は下記まで。

..... キリトリ
【申込書】 **3/8 県民大集会(郡山)** **3/15 上岡直見講演会(東海村)**
↑ に入れてください ↑ に入れてください

コース： _____ 班名： _____ 名前： _____
人数(おとな 名、子ども 名) 電話： _____
交通手段(生協車両希望 ・ 現地直行します)